

# 支部総会報告

## 東京支部創立60周年記念総会

### 特別講演は 原田泰治画伯 木遣りで会場興奮!

5月25日(土)に平成25年度支部総会を支部創立60周年記念総会として行いました。母校より倉田吉春校長、松村秀寿教頭、恩師として植松康郎、片桐千恵子、五藤慶子、茅野正、増澤三平、両角はつ各先生、大久保一会長、小口正人東海支部長はじめ会員多数が出席し、東京支部会員を合わせて170余名で盛大に開催されました。

総会は開会の言葉に続き物故者への黙祷、現副支部長指揮、山崎本部会員のピアノ伴奏による校歌斉唱で始まりました。例年通り

### 東海支部総会開催

猛暑が続く九月十四日、名古屋市中村区つちやホテルで東海支部総会を開催しました。二年振りの総会となり、倉田校長先生、大久保同窓会長、武藤東京支部長を始めとして多くの諸役員の方に出席して戴きました。

東海支部からも多数の同窓生が出席し、全員で記念撮影の後の懇親会では旧校舎の思い出から現校舎の思い出等貴重な話も数多く出て、学校の歴史の重さと諏訪実業生の学校に対する情熱の深さを改めて実感しました。

最後には、全員で校歌、逍遙歌を合唱し、林応援団長の音頭で「フレーフレー諏実」のエイルを行いました。

今回の総会開催にあたり東海支部は事前に有志が会合を持ち正に支部上げての総会を開催す



また新しく顧問に第二代支部長の小口勝氏、第三代支部長の矢崎健氏、第九代支部長の高田政幸氏に就任いただいた。

皆さん待望の講演は本校同窓で国内はもとより海外でも活躍の画伯原田泰治先生にお願いし、「一本の道」と題してお話いただいた。幼い頃から今日までの苦難を明るく、逞しく乗り越えられてきたお話は私たちの



胸を打つもので、一時間半がまだ、く間に過ぎてしまいました。原田先生の著書を会場で特別販売しましたが、用意していた60冊は発売即売り切れしました。

懇親会には上條前会長の乾杯の音頭で始まり、同窓の小林智波さんと清水信子さんの木遣りで最高潮に達した。旧交を温めながら恩師や会員相互の間でなごやかな歓談が続いた。出席者全員で出身中学校別に懐かしい歌を大合唱し、母校を思い出しながら逍遙歌を歌った。万歳三唱、手締め、飛び入りのエールもあり、閉会の言葉で5時間半の総会、懇親会はお開きとなった。

(東京支部長 武藤光史)



ことができました。諏訪実業高校の卒業生であることの誇りと、「絆」の大切さを実感しました。

母校は創立九十周年を超え、数多くの同窓生が各地で活躍されており、今後は更に同窓生間の連絡を密にし、新しい

出席者を広げて、出席して良かったと実感できる支部の体制を作っていきたくと考えております。

(小口正人記)

諏訪支部は平成9年に膝元の支部組織として活動する目的で発足した。母校と同窓会の発展のために各種行事にはできるだけ多くの参加者を募り、相互の親睦をはかっていきたいと考えています。会員の皆様のご協力をお願いします。(宮下孝正)



10月12日、同窓会下諏訪支部の総会が下諏訪町のホテル山王閣に於いて本部長大久保一様はじめ役員の方々、校長先生倉田吉春様、そして増沢三平先生

「諏訪実物語」のご講演をいただき、支部役員は全て再任で以下の通りです。

支 部 長 武井範好  
副支部長 武居千代子・北村勝人・渡辺啓吾・佐藤美恵子・山田ちづ子・藤森康弘  
事務局 尾上貴臣  
副事務局 花岡廣子  
(尾上貴臣記)

塩尻市広丘原新田205-115 上原 郁夫宛

### 下諏訪支部総会開催

10月12日、同窓会下諏訪支部の総会が下諏訪町のホテル山王閣に於いて本部長大久保一様はじめ役員の方々、校長先生倉田吉春様、そして増沢三平先生

11月14日、諏訪市のベルファイン橋場で、卒業以来53年。卒業生62名と恩師、小菅重男先生(89歳)、竹村芳房先生(88歳)、増澤三平先生(87歳)にご出席頂き同年会を開催。長い間五年間隔で行なってきたが、近年になって三年になり、古稀を過ぎた歳と共に「もつと早く」の要望が多く、今回は二年後の開催となった。会は既に亡くなられた恩師及び同年生三十九名に黙祷を捧げ、なつかしい校歌斉唱で始まり90歳を目前としてご参加頂いた三先生から当時の思い出話を含めた同年生への激励の

「諏訪実物語」の紹介  
恩師の増澤三平先生が今年6月に「諏訪実物語」をお書きになりました。

先生は昭和27年4月に諏訪実業高校に赴任され、昭和47年3月まで21年間在任されました。先生は物理の担当でしたので特につながりの深かった原雅幸先

塩尻市広丘原新田205-115 上原 郁夫宛

### 昭和35年卒業同年会

11月14日、諏訪市のベルファイン橋場で、卒業以来53年。卒業生62名と恩師、小菅重男先生(89歳)、竹村芳房先生(88歳)、増澤三平先生(87歳)にご出席頂き同年会を開催。長い間五年間隔で行なってきたが、近年になって三年になり、古稀を過ぎた歳と共に「もつと早く」の要望が多く、今回は二年後の開催となった。会は既に亡くなられた恩師及び同年生三十九名に黙祷を捧げ、なつかしい校歌斉唱で始まり90歳を目前としてご参加頂いた三先生から当時の思い出話を含めた同年生への激励の

11月15日下諏訪町のホテル山王閣にて、95才とはいえかくしやくたる上島光男先生を囲み賑やかなに想い出話を映かせ楽しいひとときを過ごしました。

校歌、逍遙歌をしてなつかしい「諏訪実からたち日記」を歌い、夜は夜でダベリング会の再現で日付が替るまで大いに飲み明かし語り合いました。

(尾上貴臣記)

先生は今年88歳ですが、毎日お元気で、200坪の畑でネギやジャガイモ、トウモロコシ、長いなどの野菜作りに精を出されています。土が堅いので長いも掘りにはとても苦労するとのこと。本部の総会や東京支部と東海支部の総会にはほとんど毎年出席していただき、懇親会で楽しいお話をしてくださいませ。この「諏訪実物語」は私たち同窓生のために書いてくださったものだと思います。先生が益々お元気で活躍されますようお願いいたします。

塩尻市広丘原新田205-115 上原 郁夫宛

### 昭和37年卒3年B組「龍虎五番会」

11月15日下諏訪町のホテル山王閣にて、95才とはいえかくしやくたる上島光男先生を囲み賑やかなに想い出話を映かせ楽しいひとときを過ごしました。

校歌、逍遙歌をしてなつかしい「諏訪実からたち日記」を歌い、夜は夜でダベリング会の再現で日付が替るまで大いに飲み明かし語り合いました。

(尾上貴臣記)

(付記)「諏訪実物語」はA4版で16枚、同窓会東京支部長の武藤光史さん(昭35卒)と事務局長の宮坂朝光さん(昭41卒)によって活字化されました。お読みになりたい方は送料140円分の切手を同封のうえ左記に申し込んでください(同窓会広報部)。

〒399-10706  
塩尻市広丘原新田205-115  
上原 郁夫宛

塩尻市広丘原新田205-115 上原 郁夫宛